

特定非営利活動法人
日本再生プログラム推進フォーラム



団体概要・活動記録

2013 年 8 月

目次

1. ご挨拶	2
2. 認定 NPO のご報告	3
3. NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介	4
4. 活動方針	5
5. 研究会	5
6. 全体イベント	11
7. ソーシャルメディア部	12

1. ご挨拶

「新年度を迎えて」

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム
理事長 藤原直哉

みなさま、こんにちは。平素は当法人が大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。当法人も今年度で 10 期目を迎え、改めて新しいチャレンジをしております。

既にご存知のように当法人は現在、税額控除の認定団体になるべく申請作業を行っており、昨年度、事務局の労力の大半はこちらに割かれておりました。おかげさまで順調に申請が進んでおり、無事に認定が通れば、みなさまからいただいたご寄付が税額控除の扱いを受けることができる団体として、まさに公的使命を持った NPO 法人として、一段と飛躍することができます。

さて、昨年度当法人の各研究会は一段と熱心に活動を行ってまいりました。特にスピニアウト研究会では東京の多摩に農園を開設して本格的な半農半 X の取り組みを進めました。まさに日本再生に向けた当法人の拠点の実現化です。

さらに中小零細企業研究会のメンタルレスキュープロジェクトでは、これまでにない勢いで心の問題についてみなさんで研究を深めました。また従来からの分野についても組織のリーダーシップ研究会ではすばらしい経営を実現している企業を訪問して、具体的な経営改善について研究を行いましたし、地域のひな形研究会では引き続きまちづくりのリーダーシップとして、震災の経験などを踏まえながら本格的に持続可能性のある街づくりを進めるための研究を行いました。さらに都市再生研究会ではバイオマス資源を有効活用した新しいエネルギー体系の構築について研究を行ったほか、中小企業研究会では仕事と生活の相乗的向上を図るための研究を行いました。

そのほかにロハス研究会では、福島県における微生物除染の見学講演会や、京都府で新規参入の若者が始めたお茶の企業の訪問、さらに天然木材を使った家を建てている企業にインタビュー訪問したほか、各研究会の枠を超えてこれから日本企業が投資を進めるときにどのように資金を供給したらよいか、21 世紀の日本版投資銀行をどのように作ればよいかについても研究を行いました。

こうして昨年度も各分野で熱心なみなさんのご参加を得て、日本で他に誰もやっていない総合的で本格的な 21 世紀の日本再生戦略を考えてきました。

そして今年度は昨年度の取り組みを各研究会ごとに進化させるとともに、いま日本全体が第 2 のロハスの勃興期、すなわち 10 年前のロハスブームのころから本格的に健康と持続可能性を考えて仕事や生活を変えてきた人たちがいよいよ自立、飛躍する時期を迎えているので、そういう人たちと連携しながら、実は日本の足元から本格的な日本再生が広がっているということを経験している人々に知ってもらい、そして参加してもらえ場所を創ろうと考えています。そのために各種の講演会、見学会や交流会を活発に行い、ロハスな仕事や生活を多くの人が体験し、実践できるようなサポートをしていきたいと考えています。

そしてそうした取り組みを広げながら日本再生のひな形を我々の NPO で創るという意気込みのもとに、社会各層に向けて健康で持続的な新しい日本の実現に向けて働きかけを行っていかうと考えています。

世の中は二極分化がますます広がって、ともするとたいへん暗くて絶望的な話題しか見えてこないようでもあります、実はその全く反対のところで苦労は多いながらも着実に健康で持続的な未来を創り続けてきてそれが成功し、ますます飛躍しようとしている人たちがいます。

どうぞみなさんも我々の仲間としてこの新しい日本の再生に参加していただき、本当に楽しい日々を健康に送っていただきたく思います。

どうぞ今年度もよろしくお願い申し上げます。

藤原直哉 拝

2.認定 NPO のご報告

NSP では、昨年より、認定 NPO を取得する為、本店の移転（両国）を行い、一昨年と昨年のご寄附の数値目標及び各書類が整いましたので、2 月 8 日に管轄の東京都に申請の書類を提出し、現在、担当官による実地調査（書類調査など）が終了し、次の段階である審議会の第 1 段階が通過したところです。この審議会は第 1 段階及び第 2 段階があるそうで恐らく、皆様の所にこの書類が届いている頃は、第 2 段階の審議会にて無事通過しているか書類補正を行っている頃と思われます。

いずれにせよ、10 月の総会までに認定 NPO が取得出来ますように、理事会を中心として、担当理事である榎本が鋭意作業を行っております。この認定 NPO の承認がおりますと、理事長が話されています、様々な事が実現可能になりますので、確りと対応いたしているところでございます。

（文責 理事 榎本恵一）

3.NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介

<正式名称> 特定非営利活動法人日本再生プログラム推進フォーラム (通称：NSP)

<事務所・事務局連絡先>

主たる事務所： 東京都墨田区両国 3-25-5 J E I 両国ビル 3 階

事務局連絡先： TEL:03-3633-8631 FAX:03-5625-3672, staff@nipponsaisei.jp

<発足・設立> 平成 15 年 10 月 16 日

<登記> 平成 15 年 10 月 16 日、内閣府認証 NPO 法人登記(会社法人等番号:0210-05-006588)

<役員構成> 2013 年 7 月 31 日現在

理事長 藤原直哉(経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所取締役 会長)

理 事 榎本恵一(榎本会計事務所 所長)

理 事 鬼澤慎人(株式会社ヤマオコーポレーション 代表取締役)

理 事 永井洋子(永井洋子税理士事務所 所長)

理 事 三上靖彦(株式会社ミカミ 代表取締役)

理 事 山口直彦(フルハシ EPO 株式会社 代表取締役社長)

監 事 小川修(長瀬産業株式会社 テクノロジーオフィサー)

事務局長 永井洋子

相談役 熊谷弘(当フォーラム前理事長)

相談役 高橋栄作(当フォーラム前事務局長)

<会員情報> 会員総数：**445 名** 2013 年 7 月 31 日現在

<活動の基本構想>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム(通称：NSP)では、わが国の経済が「内需中心の持続的経済成長によって」活性化するためには、新しい思想と技術のもとに日本の都市計画を抜本的に作り直し、まったく新しい日本の都市と田舎を作り直すことが必要だと考えています。そしてその過程で生まれる 21 世紀の新しい技術やノウハウ、製品が国際競争力の源となり、持続的な内需中心の経済成長の根源的エネルギーになると考えています。同時に日本各地固有の産業とライフスタイルを大いに振興させて、あらゆる地域の活力がみなぎらなければならないと考えます。

私たちは、日本の経済を活性化させるために、内需中心に十分に雇用があり、地方の繁栄、高齢化への対処、国際競争力の向上、温暖化問題への対処が同時に達成できるまったく新しい経済の枠組みを創造し、提言することを通じて、日本全体のあらゆる活力を高めるための活動を実践しています。

4. 活動方針

NSP の目指す日本経済の再生をひとことでいえば、「温故知新で生まれる 21 世紀の経済」です。それを実現する戦略をひとことでいえば、「戦略的低エネルギー社会の実現」です。NSP ではかつて、日本経済再生の**具体的戦略**として**観光立国、新しい農業を提案**し、実際にそれが政策となって今や日本全国に観光と農業の新しい動きが広がっています。今回は、それらを**統合した本格的な提案**として日本経済の再生を総合的かつ戦略的に行っていきます。

<具体的活動方針>

1. 健康で持続可能なライフスタイル（ロハス）を広く浸透させることで戦略的低エネルギー社会を日本で実現し、それを基盤にした 21 世紀の偉大なる共生社会を構築するためのさまざまな研究、実践、政策提言
2. そうした新しい日本を創るために必要となる戦略的なポイントを各研究会によって深く掘り下げて研究し、未来を創造するひな形を創る
3. 健康で持続的なライフスタイルの構築を目指す人々や諸団体との連携
4. こうした成果を広く世の中に啓蒙するための勉強会、講演会、見学会、芸術活動の実施
5. インターネット放送を活用して健康と持続可能性の高い生活や仕事をしている人たちを数多くインタビューして、相互の連携を強化し、新しい時代を担う人たちを浮かび上がらせる。

<事業内容>

1. 各研究会および当 NPO の主催による勉強、研究、講演、見学会の実施
2. 芸術家との連携による芸術活動
3. 農園等を活用した健康で持続可能なライフスタイルの実践活動
4. 時局に対応した政策提言活動
5. 地方における勉強、啓蒙活動

5. 研究会

NSP 内にはより詳しく日本経済再生の具体的な方法を検討するために、各理事・監事が担当している研究会、分科会を設けています。それぞれの研究会や分科会は、単に個別の問題を検討するためだけに設けられたものではなくて、日本経済再生を行う上で戦略的に非常に重要になると思われる分野を抽出して設けられたものです。それぞれの研究会では、座学でただ学ぶだけでなく研究会参加者の実践事例などの情報共有や、意見交換ができる場、そして新たな取組みを実践する場も創っていきます。

地域のひな型研究会（旧：都市計画研究会） ・都市再生研究会
組織のリーダーシップ研究会 ・中小零細企業研究会 ・スピンアウト研究会

<日本投資銀行研究会>

こうした各戦略的分野を統合して日本経済の再生を行うためにはその司令塔としてのシンクタンクと、実際に経済を動かすための巨大な金融機能が必要になります。戦後の日本で産業勃興を実際に担った日本興業銀行のような投資銀行を創設すべく研究していきます。なお、この研究会のみ、現在準備中です。

＜地域ひな型研究会＞（旧：都市計画研究会、2010年10月名称変更）

担当：三上靖彦理事（2011年11月から）樋口栄治前理事（2011年10月まで）

<http://nipponsaisei.jp/g/city> <http://youtu.be/Nzrl2rsVUBc>

地域ひな型研究会では、「日本再生は地域から始まる」の信念のもと、日本再生の方向性としての『21世紀のまちづくり～日本再生プログラム～』を取りまとめました。そして、毎月一回の研究会を通し、それぞれの地域で地域再生のために立ち上がろうとする人たちが活用できる「日本再生ツール」づくりを進めています。具体的には、日本再生のイメージをビジュアルに示す『絵巻（エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル）』の普及と解説、地域再生に向けたチームづくりの考え方を示す『未来を創るリーダーシップとチームワーク』、地域の課題解決に向けてのプログラムづくりの方法を示す『リーンキャンパス』『構造構成主義』など。また、全国各地への視察を行い、日本再生ツールの充実を目指しています。

▼研究会活動

地域ひな型研究会では、現在下記の4つについて積極的に活動しています：

- (1) 「21世紀のまちづくり」提案書のバージョンアップ、ビジュアル化
- (2) 絵巻の用語解説書作成と普及、ローカル版の作成支援
- (3) 地域再生のチームづくり支援
- (4) 先進事例の視察

※毎月1回勉強会を開催中です！ぜひお気軽にご参加ください。 <http://nipponsaisei.jp/events/>



リーンキャンパス
ワークショップ

絵巻『エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル』販売



1,000冊販売達成！



<http://vimeo.com/318937>

都市計画研究会では、東京大学名誉教授の山本良一氏・サステナブル国際会議実行委員長の益田文和氏のご好意と許諾をいただきまして、第2回サステナブルデザイン国際会議 Destination 2007-2025 でまとめられた絵巻『エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル』をより多くの皆さまに知っていただくために、販売致しております。お求めはコチラから→<http://p.tl/RjYK>

※21世紀社会のいろいろな要素が描かれているこの絵巻には、これからどんな時代の特徴が出てくるか、年齢不問出入り自由の教育プログラム・グリーンツーリズム・廃棄物の適正処理・自然資源の有効活用など今話題になっていることが、小さな項目ごとに全部入っています。

<都市再生研究会>

担当：山口直彦理事 <http://nipponsaisei.jp/g/recycle/>

環境負荷の小さい循環型社会（低炭素化社会）の建設を、環境・リサイクルや林業という切り口から考えます。また環境・リサイクルや林業によって生まれるバイオマス燃料は日本発の21世紀の新しいエネルギー資源として、日本の海外貢献にも役に立つと考えています。

この研究会は名古屋を拠点に活動しています。

明快な未来志向で進める都市再生。根本は『街造り』の前に、人と地球に優しい『人造り』。資源・エネルギーを、効果的に活用（カスケード利用、Reduce、Reuse、Recycle）して再生された都市は、エネルギー、食料、セキュリティの最低限の安全保障が確立される都市。ここでは、インフラを俯瞰的に眺め整備し、持続可能性、生物多様性、低エネルギーの仕組みの上に成り立ちます。その上で、今と未来が安心安全快適、つまり幸せが実感でき、人と地球に優しい街として蘇ります。

▼研究会活動

(1) NSPメッセージの配信

第6回 『加工貿易立国から国内資源活用への転換』

第11回 『世界各国の平均年齢から』

第16回 『改めて不易流行』

第22回 『都市農業・都市林業』

第27回 『Landscape design for sustainable society』

第32回 『腹八分目医者要らず』

(2) 都市再生に向けた取組み

- ・ 森林林業（林地集約化、測量、間伐など）
- ・ 都市型大規模バイオマス発電施設（川崎バイオマス発電）の視察
- ・ 中小規模型バイオマスガス化発電システムの開発

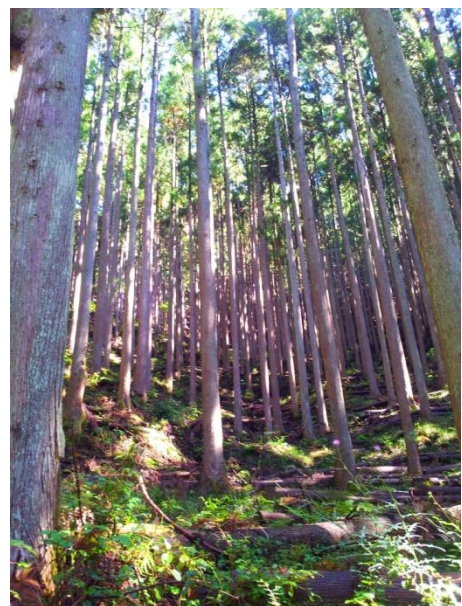
(3) 農業への取組み

- ・ 稲作（愛知、三重）
- ・ パーマカルチャー＋ランドスケープデザイン構想

(4) 名古屋のたまり場：毎月月半ばの水曜日開催



川崎バイオマス発電施設



森林林業

<組織のリーダーシップ研究会>

担当：鬼澤慎人理事 <http://nipponsaisei.jp/g/leadership/>

過去に世界が日本から学ぼうとしたことは、「永く続くこと（持続可能性）」と「質の高いアウトプット（製品やサービス）」がなぜ実現できるのかでした。時代は常に変化していきませんが、その中でも顧客や社会にとって価値を提供し続けていくことこそが重要なものであって、利益はその結果としてついてくるものなのです。

私たち研究会は、多くの企業・組織が常に価値を生み出し続け、関わるすべての人を幸せにする「すばらしい経営」の実現ができる（経営の品質を高める）支援をしていきます。働く人たちのロイヤリティが高く、創意工夫に溢れてチームワークの良い組織を創るために求められる「リーダーシップ」について、研究と学びの場を提供していくことを目的とします。混沌とした時代を切り開き、明るく豊かな未来を創っていくには、人の才能や潜在能力を引き出し、組織に相乗効果を生み出すことのできる、効果的なリーダー・経営者をひとりでも多く育成していくことがますます必要になってきているのです。

▼研究会活動

「行って、見て、聞いて、感じて、学ぶ。そして実践する」を研究会のモットーとして、これまでも勉強会だけでなく、長野県伊那市にある伊那食品工業への視察、広島県呉市の大和ミュージアム、江田島の第一術科学学校（旧海軍兵学校）視察を行ってきましたが、今年度は勉強会のみで開催で残念ながら視察研修はできませんでした。

勉強会では、「すばらしい経営を実現している企業から学ぶ」をテーマとして、伊那食品工業と川越胃腸病院の2つの組織を事例研究として学んでいます。

第1回勉強会 3月 2日（土）「すばらしき経営の実現を目指して」

第2回勉強会 5月18日（土）「伊那食品工業から学ぶ①」

第3回勉強会 7月13日（土）「伊那食品工業から学ぶ②」

第4回勉強会 9月 7日（土）「川越胃腸病院から学ぶ①」

どちらも現地には行きませんが、第4回「川越胃腸病院から学ぶ①」では、川越胃腸病院で実際に経営品質向上に取り組んでいる現場リーダーにお越しいただき、生の声を聞きながら学ぶ場としました。

<これからの活動予定>

第5回勉強会「川越胃腸病院から学ぶ②」を11月16日（土）に開催予定。その後の日程は未定ですが、定期的に勉強会を開催していきます。

また参加者からやはり実際の現地に行って学びたいとの声が多いので、来年早々に伊那食品工業へ視察研修で伺うことを考えています。



<中小零細企業研究会>

担当：榎本恵一理事 <http://nipponsaisei.jp/g/sme/>

日本経済の土台を支えている中小零細企業をいかに活性化させ、新しい成功のチャンスを広げていくかは日本経済再生の天王山でもあります。この研究会では中小零細企業の経営に詳しい人たちの英知を結集して与信や経営支援の在り方を考えていきます。

▼研究会活動

○ 中小零細企業研究会 ワークライフハピネス分科会

阿部重利会員を中心に、ワークライフハピネスのキーワードである「イキイキ働く」とはどういうことなのかを座学と企業視察を交えて行っています。

今回は東京ディズニーランドを研究題材企業とし、3月30日には、8年間勤務していた香取貴信氏を講師に迎えて、普段聞けないような裏話を伺う機会を企画し、これを受けて、4月21日には現地調査を行いました。

この講演会や現地調査を通して、従業員満足とは何か？おもてなしの心とは？など、様々な視点から学ぶことが出来たのではないのでしょうか。



講師：香取貴信氏

○ 中小零細企業研究会 心助っ人隊分科会

昨年の「メンタルレスキュー」から「心・助っ人隊」へと名前が変わりました。

日本再生の活動を進める中で、活性化した家庭、職場、地域を作り上げる一助となるような活動を行っています。

分科会では毎回、近況報告から始まり心問題に関する話をワイガヤで行っています。その後、ワークシートやロールプレイングを交えながら心問題と向き合い、事例を通してどのような対応が望ましいか話し合っています。

『気づき』、『声がけ』、『繋ぐ』が心助っ人隊としてのキーワードです。元気な人は心問題には関心ないかもしれません。しかし、日本再生というテーマから外すことができないと思っています。



<スピナウト研究会>

担当：永井洋子理事・事務局長 <http://nipponsaisei.jp/g/spinout/>

スピナウトとは、ぬるま湯の組織から抜け出て、自らの足で立ち、自らの手で事業を創り出すことです。当研究会は既存の組織をスピナウトして、起業により未来の日本を再生する人た

▼研究会活動

当研究会は、“半農半X活動の推進”という目標を掲げての活動を実施しました。

○半農活動

- (1) 2012年10月～12月までは小田原農園で野菜の作付けと刈り取りをしました。
- (2) 2013年1月～9月まで、嶋崎さんの尽力により新たに黒川で80坪の農園を借り、9名のメンバーで季節の野菜作りに挑戦。5月からは隣の耕作地が空いて更に80坪が加わり、160坪の耕作地にたくさんの野菜の種を植え、8月にはゲストを迎えて“枝豆パーティ”を開催しました。人数が多いと作業もアツと言う間に完了します。お隣の農園のおじさ方からうらやましがられています。定例活動日はすべて第2土曜日に定めて毎月活動しました。成果はみごとです。なにしろ土壌がフカフカでサイコウ！なのです。キャベツ、ジャガイモ4種類、ネギ、玉ネギ、にら、ピーマン、天豆、ナス3種類、トマト3種類、枝豆、オクラ、カボチャ、しまうり、スイカ、残念ながらえんどう豆は失敗でした。ラベンダー、ローズマリー、オレガノなどのハーブも植えました。



○半X活動

2013年1月～9月まで、毎月第4土曜日に神田の貸会議室で半Xの座学を実施しました。グループを“ワークシフト”“月3万円ビジネス”“グリーンツーリズム”の3つに分け、リーダー以外は出入り自由。“ワークシフト”では谷口リーダーが最新の手法を紹介、最後はメンバー全員参加でリーンキャンパスを実施しました。“月3万円ビジネス”ではなんと増山さんが川越に店舗を購入し、すべて手作りのカフェを始める予定です。“グリーンツーリズム”では9月に月山の麓の西川町訪問のツアーを実施しました。

6. 全体イベント ※一部抜粋

<NSP 第10期総会>

日 時：2012年10月13日（土）
場 所：国際ファッションセンター（東京都墨田区）
テーマ：新しい日本をはじめよう！
ゲスト：西條剛央氏（ふんばろう東日本支援プロジェクト代表）
動 画：<https://vimeo.com/52684869>（理事長講演）



<NSP 祭り>

日 時：2013年2月2日（土）
テーマ：懐かしい未来地図
場 所：世田谷ものづくり学校

<全国交流会>

日 時：2013年6月8日（土）～9日（日）
場 所：茨城県水戸市、那珂市
内 容：木内酒造見学会、講演会、ワークショップ
動 画：<https://vimeo.com/70378106>（理事長講演）



<福島放射能除染現場見学会・講演会>

日 時：2013年7月14日（土）
場 所：コラッセ福島
ゲスト：高嶋康豪氏（環境微生物学博士）
内 容：講演会、ワークショップ
動 画：<https://vimeo.com/70321204>（理事長講演）

<京都おぶぶ茶苑訪問ツアー>

日 時：2013年8月31日（土）
場 所：京都おぶぶ茶苑
テーマ：京都・和束町発 過疎の町から世界へ！若き茶農家の挑戦
内 容：講演会、ワークショップ
動 画：<https://vimeo.com/70321204>（理事長講演）



7. ソーシャルメディア部

世界各地、全国各地の会員さんとヨコにつながりながら活動をしていくために、NSPではさまざまなソーシャルメディアをツールを活用し、定期的に情報公開・活動記録・交流の場を発信しております。

<NSP ホームページ>



<http://nipponsaisei.jp/>

<Facebook ページ>



<http://www.facebook.com/nipponsaisei>

<NSP ブログ>



<http://naoyafujiwara.cocolog-nifty.com/nipponsaisei/>

<NSP 事務局アカウント@Facebook>



<http://www.facebook.com/nspstaffoffice>

<Twitter>



Twitter アカウント名

@nipponsaisei <http://twitter.com/nipponsaisei/>

<ロハスな日本が好き人のための復興構想会議>



<http://p.tl/16V5>

<Youtube>



<http://www.youtube.com/user/nipponsaisei>

<Flickr>



<http://www.flickr.com/photos/nipponsaisei/sets/>

<Vimeo>



<http://vimeo.com/nipponsaisei>

<お問合せ・連絡先>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム (NSP)

〒130-0026 東京都墨田区両国 3-25-5 J E I 両国ビル 3 階

TEL:03-3633-8631 FAX:03-5625-3672 E-mail: staff@nipponsaisei.jp